

“ふじのくに” 士民協働事業仕分け結果（事業別個表）

事業番号	28	事業名	「富士山の日」総合推進事業費
------	----	-----	----------------

1 基本情報

実施日／班名	10月16日 第3班	時間	13:10～14:00
担当課名	文化・観光部 総務企画課	事業費	22,000千円

2 判定結果

仕分け結果		県民評価者判定内訳(人)			
県実施 (一部見直し)	判定区分別	行政関与不要	5		
		行政関与必要	⑮	国・市町実施	2
	判定理由別	仕分け結果と同一区分を判定した県民評価者の主な判定理由内訳(人、複数回答有)			
		・県の役割(市町、関係団体、県民等との役割分担)を見直すべき	6		
		・民間委託を進めるべき	4		
・事業の終期(期限)を設定すべき	3				
・他の事業との関係を整理すべき	3				
・事業の効率化を図りコストを縮減すべき	2				

3 具体的な見直し・改善策又はその他意見

<p><行政関与不要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組み方が間違っている。 ・ 成果指標があまりにあいまいである。 ・ 世界遺産登録推進事業が別にあるので必要ない。 ・ 本気で富士山を世界遺産にしたいのなら、ごみ問題やし尿問題にもっと力を注がないと、今の富士山では登録などされないと思う。たとえ世界遺産に認定されても、それに伴って登山者も増え、環境が悪化し、観光産業だけが潤い、県民の富士山を愛する気持ちは踏みにじられてしまうと思う。 ・ 俳句を冊子にするより、某飲料メーカーの様に花茶等の地場産業のラベルに載せるなど、もっと別のアイデアを考えていただきたい。 ・ 2月23日という単なるゴロ合わせで選んだこの日ですが、学校によってはお休みになり、しかし、親の方は仕事が休みにならず、とても迷惑しているという声を聞く。富士山へ入山できないこの日ではなく、別の日でのよいのではないか。 ・ 行政より下りる話ではないような気がする。 ・ 世界文化遺産登録ありきのようですが、富士山は皆認めている山です。愛している山です。 ・ そもそも目的があまりよく理解できない。 ・ 思いつきの発想の事業であるように思います。環境影響評価、山梨県との関係も含めて、もう少し詰めて考えるべきではないか。 ・ これが進められたために、山は荒れ、県民の意識はほとんど変わらず、しかし少し潤った業者もあるということのないように願いたい。

- ・ 富士山の魅力とは何かについて、もっと生活者の意見を聞いたり、深く考えてみたりする必要があるように感じた。
- ・ そもその目的がよくわからない。世界遺産登録という目的をぼやかしながら、県民の意識を高めるという説明なので分かりにくい。富士山の日についても、学校によっては休日にするということで、喜んでいるところばかりではないと思うので、それも含めて見直しをしていただきたい。

<国・市町実施>

- ・ 成果目標がはっきりしない。
- ・ 世界遺産登録のためならば、県民の負担でやる事業ではないと思うが、登録に向けて頑張ってもらいたい。

<県実施(抜本見直し)>

- ・ 総合調整は、具体的・個別的な判断が難しい。
- ・ 県条例という立法を通じている以上、税金使用の運動促進のコンセンサスはあるので行政関与の必要性はある。市町、国も啓発・理念維持は参加すべきだが、県も実施すべき。百人一首等は県が実施すべきか疑問。総合調整機能のみにして、他事業主体(民間・市町)に具体的なところは移すべき。
- ・ 事業内容については全面見直しの必要を感じる。フォーラム、講座、写真展、百人一首、俳句は民間に任せられると思う。県民としては、学校教育を通じて、富士山の文化、歴史、自然、世界遺産登録に向けての課題などを全国民で学ぶべきではないか。また、富士山の環境保護や歴史をまとめるために、貢献している団体を表彰すべき。
- ・ 百人一首、百人一句、写真展をやる必要があるか疑問。この内容であれば他の部署で進めればよい。
- ・ 事業としての目標があいまいで、分かりづらい。観光、経済効果を把握し、静岡県としての目標額を検証し、この事業の費用対効果を考えて欲しい。目標を考えた上で予算化して欲しい。
- ・ 世界遺産が目標ならば、環境保全について具体的な施策があるはず。
- ・ 理念としては理解できるので、県民に理解できる方法で続けて欲しい。
- ・ 知事が交替したらこの事業はどうなるのか。22年度の追加予算も知事の思い付きではないか。
- ・ 個人的にはフジッピーには、PRを頑張ってもらいたい。

<県実施(一部見直し)>

- ・ 県の財産、富士山を後世に継承するための取組は楽しみ。大切に末永く守り継承していくため、県が主体となって推進し、なるべく早く市町、民間に任せて欲しい。
- ・ やろうとしていることが全くわからない。「富士山」のネームバリューだけで予算を好きなだけ投入していないか。
- ・ これから調整することは、調整してから予算化すべきで、介護向けに予算をまわすべき。この事業のために、他の重要な予算を削っていないか。
- ・ 年間 2,200 万円かけないと富士山は後世へ継承されないか。
- ・ 県でやることもあるが、県内外の人達に向けての百人一句や一首の募集に関しては、協賛企業などに協力してもらおうように考えたらいと思う。
- ・ 本当は何もしないほうがよい。条例を定め県が主催で進めていかないと定着しないとしたら、そのほうが問題。押し付けられなくても自然発生的に定着するものでなければ長続きはしないのではないか。
- ・ 全体像がみえない。国の責務、山梨との活動、協賛事業の内容が分からない。
- ・ 経済効果の検討をすべき。山梨県と関連 4 市 1 町(富士、富士宮、御殿場、裾野、小山)に効果が及ぶのならそこが中心にやっていくべき。

- ・ 「富士山の日」総合推進事業の目標達成の予算終了年度を設定すべき。
- ・ 富士山クリーンアップ等、協賛事業予算の一部を富士山周辺市町へ交付したらどうか。
- ・ 富士山憲章に基づく山梨県との合同行事を開催したらどうか。
- ・ 運動推進は県で、市町が事業の推進にあたるべき。
- ・ 関心がまだ少ないと思う。富士山の名前を知っている人に気持ちを盛り上げることを希望する。
- ・ 登山者に入山料をとるべき。
- ・ 神の山である富士山に対して、観光面だけでなく教育面も考えてほしい。
- ・ 「富士山の日」の目的がよくわからない。
- ・ 将来的には市町の事業にしたいとのことだが、強制的にやらせる必要はないのではないか。
- ・ 世界遺産登録が目的となっている気がする。
- ・ 具体的な事業は控えて、総合調整に力点を置いた方がよい。